

自分が主役の物語

ついこのあいだ中学校に入学したかと思っていたら、気づけば卒業まであと数カ月を残すのみ。

「一日は長い。一年は短い」とはかつての卒業生が残した言葉ですが、言い得て妙かと思えます。

この生徒が話していた別の言葉も紹介します。

妹から、どうして勉強しなければいけないのかと問われたときに残した言葉、「達成感を体験するため」とのこと。その生徒も今や大手銀行に勤務し、社会人となっています。

さて、長いといえば長かったし、短いといえば短い3年間でした。

あと数カ月やり抜いて、「自分が主役の物語」に達成感を味付けしてください。あと数カ月！

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
12/31 冬季休暇	1/1 冬季休暇	2 冬季休暇	3 冬季休暇	4 年末年始特訓 小6中受	5 冬期講習会	6 冬期講習会
7 学力テスト 年末年始特訓	8 冬期講習会	9 始業式	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20 英語検定
21 五ツ木テスト (中3希望者)	22	23	24	25	26	27 漢字検定
28	29	30	31	2/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 私立高校入試 調整休講日

【小・中学部共通】

1月 7日(日)・・・冬期学力テスト(該当しない学年はお休みです)

小学生: 14:00~16:00(小5~6標準、小5中受)

中学生: 17:00~21:00(中1、中2団体) ※教室によって時間帯が異なる場合があります。(要確認)

1月 7日(日)・・・年末年始特訓(小6中受、中3団体クラス)

1月20日(土)・・・英語検定(希望者のみの受検です。申し込みは終了しています。)

1月27日(土)・・・漢字検定(希望者のみの受検です。申し込みは終了しています。)

※保護者懇談会を予定している学年があります。その場合は別途お知らせいたします。

【中学部】

1月21日(日)・・・五ツ木の模擬テスト会(中3希望者のみ。1月7日締切)

※中3生のみ学年末テストが1月末にあります。試験対策授業の開始日は教室により若干異なります。

お知らせ

★ 冬の招待状「その2」

小学生の無料体験授業(現小4~小6)受付中!

冬の招待状「その1」を受けた方も受けられなかった方も、各学年の標準クラスの授業を体験していただけます。さらに学力診断テスト(国語・算数)を実施し、偏差値を見ることで自分の力がわかります。

※新たに申し込まれる方は、各学年とも教材費として1,620円(税込)のみ申し受けます。

※ただし、「その1」を参加した生徒さんおよび在籍生は教材費の必要はありません。

※その他にも漢字検定、英語の授業を受けていただけます。

通常授業時間割(2017年度)

★ジャガータウン教室★

小4・・・(火)国語 17:45~18:30 (金)算数 17:45~18:45

小5・・・(火)算数 16:45~18:45 (金)国語 16:45~18:45

小6・・・(月)算数 16:45~18:45 (木)国語 16:45~18:45

★菊水教室★

小4・・・(月)算数 17:30~18:30 (水)国語 17:30~18:15

小5・・・(火)算数 16:45~18:45 (金)国語 16:45~18:45

小6・・・(月)国語 16:45~18:45 (木)算数 16:45~18:45

★寺方高瀬教室★

小4・・・(火)算数 17:45~18:45 (金)国語 17:45~18:30

小5・・・(火)国語 16:45~18:45 (金)算数 16:45~18:45

小6・・・(月)算数 16:45~18:45 (水)国語 16:45~18:45

★ 恒例の新学期キャンペーン

新学期入学者は3学期の授業料無料 説明会受付中!

3月以降にご入学を予定されているみなさまには、3月13日(仮予定)までの期間中、既存する全クラスの授業にご参加いただけます。各クラス、定員がございますので 入学をご検討されている方は、お早めのお席確保をお勧めいたします。また、ご興味をお持ちの方がいらっしやいましたら、ぜひお声がけください。

※入学説明会は1月下旬より随時行ってまいります。先にご予約を受け付けいたします。

※特別講座「その1」「その2」を受講されていない方も対象です。

3学期の学習内容 ※冬の招待状「その2」、新学期キャンペーン共通です。

小6(新中1) 中学に入学されると、英語・社会・理科の時間数が増え、国語の時間が減ります。

その前に、3学期をまるまる利用して、読解の重要なポイント「対比をとらえる視点」を徹底します。かなりおすすめです。

小4・小5 国語は、読解力養成で定評の「論理エンジンキッズ」で、要点のとらえ方、言い換える視点を学びます。

算数は空間トレーニングで図形問題にチャレンジしています。

中1・中2 3学期・学年末テストの準備学習を実施中です。ぜひご参加ください。

ともがく情報

あたたかいこと

近所の人に「コンニチハ」とあいさつをしたら、「もう受験生になったんやねえ？」と返ってくる。そして、「がんばりや」と励ましのお言葉をいただく。お正月だからと、親戚が集まった。おじさん、おばさんたちから、お年玉と一緒に「しっかりね」とエールを受ける。兄が自分の体験談を話してくれる。「こんなことがあるから、気をつける」と、ちょっとえらそうにアドバイス。それはそれで、ありがたくちょうだいする。親からもらったお守りを塾のカバンにぶら下げてみた。ユラユラとゆれるお守りに、無言の檄(げき)を感じる。

考えてみれば人生でこれだけ応援されるときも珍しい。これまで見守ってくれたみんなが自分を応援してくれているんだと思うと、ちょっと幸せなのかもしれない。もう受験まで日がないけれど、「寒くないように」とか、受験の当日には「受験票持ったの？」とか、きっと声をかけられる。みんなが声をかけてくれる。そんなこんな一言だって、自分におくられた声援なんだと思う。そう思いしてみる。季節は冬だけど、みんなの声はポカポカしている。だから今、なんだかとってもあたたかい。

高校入試まで

年が明けました。そう考えるとだんだん緊張感も出てくることだと思います。入試の対策は進んでいますか？ 今はそのことで頭がいっぱいだという人もいますが、入試のことを意識しすぎると見えてこないものもあります。よく考えてみると入試本番までにもまだテストや行事があることに気づくことでしょうか。そこで今回は入試本番を迎えるまでについて、いくつかお話したいと思います。

●私立高校出願 ～入試への第一歩～

2月10日にある私立高校入試において、受験する意思を伝える書類(入学願書)を高校側に提出します。これはだいたい1月中旬ごろから受け付けが始まり、中学校から私立高校に受験生自らが出向くのですが、この時点で誰が自分と同じ高校を受験するかがわかります。なお、出願した高校名・コース・専願か併願か・受験番号などを必ず報告してください。

●学年末(卒業)テスト ～内申点を上げるラストチャンス～

中学校生活最後の定期テストです。私立高校の入試前、毎年1月下旬に行われます。言うまでもなく学校の成績に大きくかわります。特に公立高校を第1志望にしている人にとっては調査書の点数(内申点)を上げる最後のチャンスです。公立高校の入試はいかに内申点を確保できているかにかかってきます。最後まで気を抜くことなく、内申点を上げていく取り組みをしていきましょう。

以上のように、2月の私立高校の入試本番までにも大事なテストや行事があります。入試のための勉強が大事なのはもちろんですが、それぞれのテストに対してもしっかり取り組み、乗り切って万全の状態の入試本番を迎えてください。皆さんの最後まで諦めない姿に敬意を表し、応援していきます。

(山見)

友学園より

「塾ナビポイントカード」について

●カードの役割と重要性●

入学時に各教室において「ルールブック」を配布し、友学園を快適にご利用いただくために、教室ごとにルール説明をいたしておりますが、その中でも重要なものとして、「入退室メール(登下校メール)」があります。

これは、子供たちを取り巻く事件や事故が相次いでいる昨今、保護者のみなさまにとりましても、日々の子供たちの安全をどのように確保するのが重要な課題となっています。また、学校や地域が協力して子供の安全を守るべく、様々なことに取り組んでいるのも事実です。友学園も地域の一員としてどのような協力ができるのか、中小規模塾は大手塾のように通学バスを走らせるわけにもいかず、塾として通学時の安全確保に対して頭を悩ませてきたことも事実です。そこで少しでも保護者のみなさまが安心していただけるよう、地域塾でもいち早く「塾ナビネット入退室メール」を2005年から導入するに至りました。

これによって入退室メールの導入以来、「無事到着したかどうか」「授業が終わり塾を出たかどうか」が確認でき、保護者さまの間で高く評価されています。

しかし、中には以下のようなことが原因でその役割の重要性が薄れてきている生徒さんや保護者さまもおられるように感じられるのも事実です。



【よくある事例】

- ①カードを持ってこない
- ②持ってきても打刻(機械にかざすこと)をしない
- ③毎回来るメールに慣れてしまい、確認を怠る
- ④保護者から何も言われないため、生徒がわざとカードを持ってこない
- ⑤失くしたままにしている(保護者も気にしない)

このままでは塾としても責任問題に発展しかねないと考え、改めてスタッフ間でルールを徹底し、生徒さんへの指導を重ねてまいりますので、保護者のみなさまにもカード導入の趣旨をご理解いただき、ご協力とお子様へのご指導を徹底していただくよう何卒お願い申し上げます。

(坂本)

入試の日、「お守りもった？」の一声は、 あなたに送る、最後のエールです。

お守りには、緊張状態を解決する効果も確認されています。